

【樹木・草花の部屋】

ススキ（イネ科ススキ属 *Miscanthus sinensis*）

和名（漢字）；芒、薄 別名；尾花、萱（かや） 英名；

イネ目 多年性草本植物

原産地；東アジア

花言葉；活力、精力、心が通じる、生命力

花の色；

名の由来；



⇒ 写真－1 ススキ

撮影日：2012年9月3日

撮影場所：奈良県広陵町

馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん

高さは1から2m。地下には短いがしっかりした地下茎があり、そこから多数の花茎を立てる。葉は細長く、根出葉と稈からの葉が多数つく。また、堅く、縁は鋭い鉤状になっているため、皮膚が傷つくことがあるので要注意。

写真－2 ススキ ⇒

撮影日：2012年9月3日

撮影場所：奈良県広陵町

馬見丘陵公園にて

撮影者：Tさん

夏から秋にかけて茎の先端に長さ20から30cm程度の十数本に分かれた花穂をつける。花穂は赤っぽい色をしているが、種子（正しくは穎果・えいか）には白い毛が生えて、穂全体が白っぽくなる。種子は風によって飛ぶことができる。



【樹木・草花の部屋】



← **写真3**： ススキの穂
撮影日：2006年9月24日
撮影場所：奈良県広陵町
S邸にて
撮影者： Sさん



← **写真4**： ススキの夜
撮影日：2010年10月13日
撮影場所：奈良県広陵町
S邸にて
撮影者： Sさん

<ちょっと一言>

日本には全国に分布し、日当たりの良い山野に生息。夏緑性で、地上部は冬には枯れるのが普通、と思いきや、沖縄などでは常緑になり、高さは5mにも……。その形ゆえに、たまにサトウキビと勘違いする観光客がいるそうです。国外では朝鮮半島・中国・台湾に分布するほか、北米では日本にセイタカアワダチソウが侵入したのと逆の経路で伝播侵略的外来種として猛威をふるっているそうです。

十五夜の月見には、ハギ(萩)とともにススキを飾ることが多いです。ダンゴと一緒に……。風流な楽しみ方の一つ……。月見の宴。

奈良県の曽爾高原はススキの名所。一度は訪れてみたい場所では……。

ススキは秋の七草のひとつです。

[ハギ](#)、オバナ(ススキ)、[キキョウ](#)、[ナデシコ](#)、[オミナエシ](#)、[フジバカマ](#)、[クズ](#)
覚え方は「ハスキーなお袋」だそうです。

[ススキのアルバムへ](#) ススキの写真集です。